

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 令和6年3月21日

事業所名 かねでの家(児童発達支援・放課後等デイサービス) 家庭数 2 回収数 2 割合 100%

内容		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
適切な支援の提供	4 こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が作成されているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
保護者への説明等	7 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	8 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	9 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	11 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	12 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか	2	0	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

	14	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。(また、発生を想定した訓練が実施されているか。)	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
満足度	17	こどもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	18	事業所の支援に満足しているか	2	0	0	0		
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月21日

事業所名 かえでの家(児童発達支援・放課後等デイサービス)

項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>	目安となる面積を基に定員設定をしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>	利用児童数に対してゆとりをもたせている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>	視覚的支援を、個人に合わせて実施している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>	現状の課題を抽出・分析し、職員全員で解決に取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	年に一度、施設評価アンケートを実施している。	
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>	開所年度なので、まだ実施・公表していない。	保護者に対して、評価アンケートの結果を公表する。また、ホームページにも掲載する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	外部評価は実施していない。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>	より多くの職員に、研修に参加する機会を設けている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	<input type="radio"/>	相談支援ファイルを基に、アセスメントを実施し、支援計画に反映させている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>	太田ステージや子どもの発達を支えるツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	担当者と児童発達支援管理責任者(以下、「児発管」という)で立案している。	チームで立案する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	こどもの姿をとらえ、成長に合わせて柔軟に変更している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>	利用時間に鑑みて、課題を設定している。	
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか	<input type="radio"/>	個別、少人数又は集団での活動を、個々の児童の様子(課題)に応じて、支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>	実施できていない。	支援開始前に職員間で打ち合わせを行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>	実施できていない。	支援開始後に職員間で振り返りを行う。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>	半年に一度、モニタリングを行い、支援計画を見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	<input type="radio"/>	行なっている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>	児発管又は担当職員が参加している。担当職員が参加できない場合も、児発管が普段の様子を聞き取った上で参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	<input type="radio"/>	送迎時等を利用して、担当教諭と情報共有を行なっている。	

関係機関 や保護者との 連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか→対象児利用なし	-	-		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	利用児童に一年生がいなかったこともあり、実施できていない。	保護者に同意を得た上で卒園・所前に、所属施設へ出向き情報共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当する児童がいない。	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所等と適宜連絡をとり、連携している。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等(放課後児童クラブや児童館)との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		保育園に併設しているので、日常的に交流している。	
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳で日々の様子を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	現在、実施できていない。	ペアレントプログラムを使い、計画的に保護者支援を行う。
	30	運営規程、(支援の内容)利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している。	
保護者への 説明責任等	31	(定期的に、)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時、保護者からの相談を受け付け、適宜対応している。時間を要する場合等は、面談日を設定している。	個別に対応できない時は、児発管等と一緒に対応をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	利用児童が少ないため、実施できていない。	保護者同士の交流・連携の機会を作る。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		個別懇談や事業所内相談以外にも、電話や面談で相談を受けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	現在、実施できていない。	月に一回施設だよりの発行や、定期的にブログ更新をしたい。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報は施錠できる書庫に保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的支援等を用い、個々に合った分かりやすい方法を、工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、実施できていない。	今後、検討していく。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを策定し、誰でも閲覧できるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	現在、実施できていない。	月に一回様々な場面を想定し、避難訓練を行なう。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、該当児童がいない。	アレルギーの診断書の基に、個別に対応する
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	現在、実施できていない。	職員会議やミーティングなどで確認する。
42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の研修に参加したり、ケース会議を行ったりしている。		

43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	現在、該当児童がいない。	身体拘束規程を基に、職員に周知しケース会議等で協議する。
----	---	--	---	--------------	------------------------------